

### 孫の言い分

藤澤 量正

家庭ということばは、聖徳太子が初めて用いられたと聞いたことがある。真偽の程は定かではないが、たしかに家はまさしく庭である。庭には老木もあるし灌木もあるが、たおやかな草花もある。その庭木や草花が、それぞれに光を受けて輝いておれば、たとえかほそい庭であっても、それだけで心が和むものだ。百田宗治に、

日がかげれば

何も無い庭はさびしい。

日と照っていれば

萬葉の花の咲きにほふ心地がする。

という詩があるが、家という庭に明るい光を注いでくれるものの一つに、幼い孫のあどけない仕草や表情がある。時には、ぎすぎすした家庭の間の潤滑油にもなり、明るい雰囲気へと転換させる力となるのも孫のことばなどによることが少なくない。家庭の崩壊が取り沙汰されている今、「孫」と題した演歌が大流行しているのも何となく頷けるような気がしている。

五、六年前のこと、下の孫が保育園に通っていた頃の話である。ある日、母親といっしょに風呂へ入っていたその孫が、どこかでそのことを耳にしたのであるとか、

「カソクってどんなイミ……」

と聞いたという。母親はしばらく考えたあと、同じお家に住んでいて、一緒に食事をしたり、お話をしたりする親子や兄弟なんかを家族というのだと具体例を挙げて話したようである。それを孫はじつと聞いていたが、果たしてカソクの意味するところがこの保育園に通っている子に理解出来たであろうかと思った母親は、確認のために、

「おうちのカソクは何人？」

と尋ねたところ、孫はすかさず

「六人……」

と答えたらしい。びっくりした母親は

「どうして六人なの？お父さん・お母さん・

お兄ちゃん・おじいちゃん、そしてボクと、みんなで五人じゃないの？」

と言うと、孫は真剣な眼差しで答えた。

「おばあちゃんをまかせて六人やる……。おばあちゃん、仏さまになつていてるけど、いつもボクたちを見ていてくれると言ったやろ。だから、お参りのあとに、いつもお兄ちゃんといっしょに、おばあちゃんお早う、おばあちゃんおやすみと言ってるもん……」

「本当にそうやったねえ、おばあちゃんを入れて、うちのカソクは六人やねえ……」

と言いながら母親は、その子の心情をとてもうれしく思ったということであった。

私はこの話を聞いて感動した。私は妻が亡くなったあと、妻を家族の中に加えるという意識で生活してはいなかった。もちろん一般的には亡くなった人を家族に加えない。しかし宗教的な視点に立てば、この孫の発言は決してまちがってはいない。むしろ極めて大きな意味を持つと私は知らされたことであった。なぜなら念仏者の生活というのは、有縁の人びとと共に、如来の眷属（家族・身内）として生活しているという自覚と誇りを持つことだからである。

下の孫は小学四年生になった。今でも毎朝毎夕おばあちゃんへの挨拶を続けている。



「人間として」本願寺津村別院 平成十三年

### 坊守のつばやき

以前の「若坊守のつばやき」がなくなり、最近の皆様投稿を楽しく拝見させていただいていたら、「来月は坊守が書いてね」と住職から依頼を受けてビックリ慌てました。依頼を受けた皆さんこんな感じだったんだなと感じました。



福泉寺に嫁いで11年。

今年のお盆参りは、我が家の末っ子も幼稚園でお世話になっていたので、約10年ぶりのお参りをさせて戴きました。

私はいつもお寺で皆様をお出迎えするばかりだったので、皆様のご自宅へお参りさせていただくのは懐かしく、とても新鮮でした。

コロナの事もあり、玄関先で短いお勤めでしたが、焼香机に扇風機に椅子にお茶。普段玄関に並ばない右のばかりが並んでいる光景を見ると、有難い限りでした。お盆参りが始まる前は10年ぶりのお勤めに緊張していましたが、皆様のお蔭で、優しく包まれたお参りをさせて頂くことが出来ました。ありがとうございました。

コロナで制限されたお勤めでしたがとても有難い一時を過ごさせていただきました。

# 染香

ぜんこう

福泉寺寺報  
令和3年9月  
第99号

(毎月1日発行)  
ホームページ



コロナ禍も  
いのち授かり  
「ありがとう」

## 目に見えないけど、ある

先月のお葬式での出来事です。  
ひとり暮らしのお父様が自宅で亡くな  
っていました。お弁当配達の方が気になっ  
て、ご家族に報せたそうです。

来年奥様の33回忌を迎える父親を、市外  
に根を下ろすご息子さん家族が見送り、  
大変素晴らしい葬儀となりました。

お父様は最近まで自転車で自らスーパ  
ーに出かけ、弁当を調達して生活してい  
たのですが、晩年は、お参りの度に「しんど  
いなあ」という言葉を耳にしていました。

「お父様、この2、3年はしんどいつ  
ておっしゃっていましたね」と声を掛けると  
お嫁さんが「父がそう言っていたのですか」  
と驚いた顔をされました。

「私たちにはそんなこと一言も言わな  
かった」と。  
私は「やさしさですね」と答えました。



離れて暮らす家族に心配はかけさせ  
ない親心が、後になって皆さんの心に  
じわじわと伝わっていくようでした。今日  
にいたるまでいろいろなきことがあつたで  
しょうが、この「やさしさ」に気がつけば、  
きつと今までとは違った人生が開けて  
くるに違いないな、と想像しました。



「やさしさ」は残念ながら、目には見え  
ません。私たちの眼にはこれだ、と「やさ  
しさ」を指さす能力が備わっていないから  
です。けれど、あるのですね。父親を見送  
って流す涙が、やさしさの存在を証して  
くれます。

私たちは昨年の初めから、感染という、  
目に見えないものによって翻弄されてき  
ました。それとは別に、私たちは、時を超  
え、場所を超えて、無数の見えないもの  
によって支えられて存在しているとい  
うことも、大切にしたいものです。  
いかがでしょう。

(住職)

## お経のことば 折々



《如来(にょらい)》

如来は「如(にょ)より」来生(らいじやう)  
したお方、という意味です。「如  
とは「ありのまま」という意味で  
す。皆さんの心臓が意識とは関  
係なく動いているその働きのよ  
うなものです。「来生」とは、  
現世にやって来た、という意味です。つま  
り、遠くの世界のお方ではなく、今、私達  
のそばにいらっしゃる、ということ  
です。私達に感じる力はありませんが、確かに  
おられるのですね。

## ちょっと あたまの こりほぐし

なぜなぞです。  
100-1=何色?

答えは裏面です  
漢字のなぜなぞです。



## おてらから

○お盆参りでは、大変お世話になりました。短い時間でしたが、皆さまの温かいお心に触れることができ、幸せでした。子育てはもちろん、人間としてまだまだこれからです。引き続きよろしくお願い申し上げます。

○コロナのために、朝のお勤めを変更します。(9/12まで)

時間: 6時30分

場所: 住職↓本堂 皆様↓ご自宅

○のうごつぽ、残りわずかです。資料を作りましので、お気軽にどうぞ。

○お寺の掲示板に「ことば」を掲示しています。仏教、時事、医療、教育…

福泉寺公式LINE  
行事案内を送ります

